2 市の借金は１８７億４，２７３万円

全会計の令和２年度末借金残高合計は１８７億４，２７３万円で、前年度に比べ、７億８，８９３万円の減少となっています。

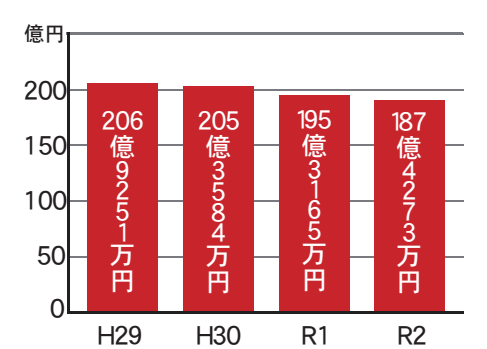
一般会計では、前年度に比べ５億９，２８４万円の減少となっています。特別会計でも、前年度に比べ１億９，６０９万円の減少となっています。

なお、市が借りている地方債の多くは、返済時に地方交付税措置があります（市が借金を返済するために必要な金額の一部について、地方交付税を増額して国が配分する措置です）。

■全会計借金残高

	令和２年度末残高	前年度比増減額
一般会計	１４６億3，１２３万円	▲5億9，２８４万円
水道事業会計	1億6，０１２万円	４８１万円
工業用水道事業会計	0万円	▲1億2，７４５万円
簡易水道事業特別会計	１２億7，３３１万円	▲8，６４５万円
公共下水道事業特別会計	１８億3，２０２万円	9，４３２万円
特定環境保全公共下水道事業特別会計	6億7，２０４万円	▲5，９３１万円
農業集落排水事業特別会計	1億7，４０１万円	▲2，２０１万円
合　計	１８７億4，２７３万円	▲7億8，８９３万円

市民一人当たりの※1
借金７２.７万円
（前年度75.2万円）
©やなせたかし 森のモリくん

◆借金残高の推移

3 市の基金（貯金）は１２３億７，８８１万円

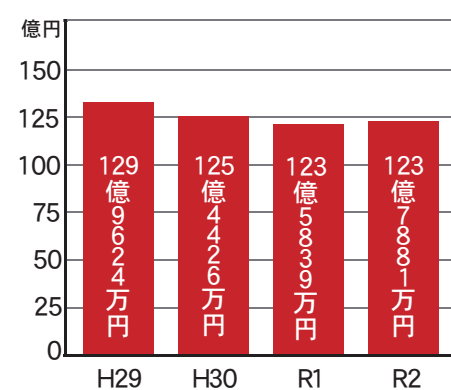
全会計の令和２年度末基金残高は、１２３億７，８８１万円で、前年度に比べ、２，０４２万円の増加となっています。

一般会計では、工業用水道事業の廃止による一括償還金の財源として減債基金の取り崩しなどにより、前年度に比べて、１７２万円減少しました。

特別会計では、各基金とも増減額は横ばいとなりました。前年度比では、２，２１４万円の増加となりました。

■全会計基金残高

		令和２年度末残高	前年度比増減額
一般会計	財政調整基金　※2	４５億9，６７１万円	5，６３０万円
	減債基金　※3	9億4，８３７万円	▲1億1，５００円
	特定目的基金	６１億1，１５２万円	5，６９８万円
	土地開発基金	2億8，７６８万円	0円
	一般会計合計	１１９億4，４２８万円	▲１７２万円
国民健康保険特別会計		6，３３２万円	２１４万円
介護保険特別会計（保険事業勘定）		1億7，９７１万円	0万円
水道事業会計		1億9，１５０万円	2，０００万円
合　計		１２３億7，８８１万円	2，０４２万円

◆基金残高の推移

※１ 令和３年４月１日現在香美市の人口（２５，７６７人）を基に算出。
※２ 年度間の財源の不均衡を調整するために設けられる基金。
※３ 地方債の償還（借金返済）を年度を越えて計画的に行うための基金。

令和2年度 決算報告

4 健全化判断比率と資金不足比率

自治体全体の財政状況を判断するための**４つの健全化判断比率**のいずれかが、早期健全化基準以上である場合は、国から財政健全化計画の策定を、財政再生基準以上である場合は財政再生計画の策定を義務づけられ、健全化が求められます。

また、公営企業の資金不足比率が経営健全化基準以上である場合は、経営健全化計画の策定が義務づけられ、健全化が求められます。

香美市は、早期健全化基準および経営健全化基準をいずれも超えていません。

■令和２年度決算に基づく香美市の健全化判断比率　（単位：％）

指　標	香美市	県内平均	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	▲１．５８ ※1	▲　２．７	１３．３１	２０．０
連結実質赤字比率	▲６．１３ ※1	▲１４．１	１８．３１	３０．０
実質公債費比率	９．９	１０．１	２５．００	３５．０
将来負担比率	▲５３．８ ※2	４８．３	３５０．００	―　※3

※１ 比率の前の▲は、黒字ということを表しています。
※２ 借金残高等の将来負担額より基金等の充当可能財源等が多いため比率を▲で表示しています。
※３ 財政再生基準がない。

■資金不足比率　（単位：％）

会　計　名	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	▲３．９　※1	２０．００
工業用水道事業会計	▲０．０　※2	
簡易水道事業特別会計	▲０．０　※1	
公共下水道事業特別会計	０．０	
特定環境保全公共下水道事業特別会計	０．０	
農業集落排水事業特別会計	０．０	

※１ 比率の前の▲は、黒字ということを表しています。
※２ 営業収益又はそれに相当する収入がない。

用　語　解　説

実質赤字比率
普通会計の赤字の深刻度を表す指標（小さいほどよい）。

連結実質赤字比率
市の持つすべての会計を対象にして、赤字の深刻度を表す指標。

実質公債費比率
税収、地方交付税など一般財源の収入に占める借金の返済（公債費など）の割合を表す指標。この比率が大きいと、他の支出にまわせるお金が少なくなっていることを意味します。

将来負担比率
市債（借金）残高など、普通会計が将来負担すべき負債の指標です。この比率が高いほど、将来負担する額が大きく、今後の財政運営が圧迫される恐れがあります。

資金不足比率
公営企業の資金不足を、料金収入の規模と比較して指標化したもの。この比率が高いほど経営状態の悪化が深刻であることを表します。

健全化判断比率等と会計区分

区分		会計
香美市	普通会計	一般会計
	公営事業会計	国民健康保険特別会計 後期高齢者医療特別会計 介護保険特別会計（保険事業） 介護保険特別会計（介護サービス事業）
		水道事業会計 工業用水道事業会計 簡易水道事業特別会計 公共下水道事業特別会計 特定環境保全公共下水道事業特別会計 農業集落排水事業特別会計
一部事務組合・広域連合		香美郡殖林組合、香南香美衛生組合 香南斎場組合、香南香美老人ホーム組合 南国・香南・香美租税債権管理機構 香南清掃組合、こうち人づくり広域連合 高知県広域食肉センター事務組合 高知県市町村総合事務組合 高知県後期高齢者広域連合
地方三公社・第三セクター		該当なし ※損失補償をしていない第三セクターは、対象外となってます。

実質赤字比率（一般会計）
連結実質赤字比率（香美市の全会計）
実質公債費比率（香美市の全会計、一部事務組合・広域連合）
将来負担比率（香美市の全会計、一部事務組合・広域連合、地方三公社・第三セクター）
資金不足比率（水道事業会計～農業集落排水事業特別会計）※公営企業会計ごとに算定